

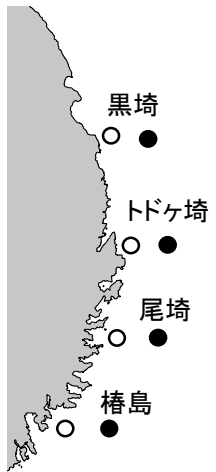
# 令和4年度 ワカメ養殖情報第1号 (令和4年9月28日)

・漁業指導調査船岩手丸が実施した海洋観測9月分(8月29日、30日実施)の結果から50日先の0海里表面の栄養塩濃度が $20 \mu\text{g/L}$ ※を超える確率を予測しました。その結果、10月中旬には、黒埼12~36%、トドヶ埼8%、尾埼0~15%、椿島0%となりました(図1)。

・参考までに観測結果は図2に示しますが、例年通りまだ栄養塩は低い状況ですので、種苗(種系)の管理をしっかりと行ってください。

・船越湾吉里吉里漁場の表面の栄養塩(9月6日)は、 $3.4 \mu\text{g/L}$ となっています。

※ ワカメ種苗の巻き込み時に必要とされる栄養塩濃度



○ : 0海里定点  
● : 10海里定点

※地点図には国土地理院の基盤地図情報を使用

<10月>

黒埼							
日	月	火	水	木	金	土	
						1	0%
2	3	4	5	6	7	8	0%
9	10	11	12	13	14	15	12%
16	17	18					24%
							28%
							36%

トドヶ埼							
日	月	火	水	木	金	土	
						1	0%
2	3	4	5	6	7	8	0%
9	10	11	12	13	14	15	4%
16	17	18	19				8%
							8%
							8%

尾埼							
日	月	火	水	木	金	土	
						1	0%
2	3	4	5	6	7	8	0%
9	10	11	12	13	14	15	0%
16	17	18	19				4%
							4%
							12%
							15%

椿島							
日	月	火	水	木	金	土	
						1	0%
2	3	4	5	6	7	8	0%
9	10	11	12	13	14	15	0%
16	17	18					0%
							0%
							0%

図1 栄養塩が $20 \mu\text{g/L}$ 以上となる確率(予測結果)

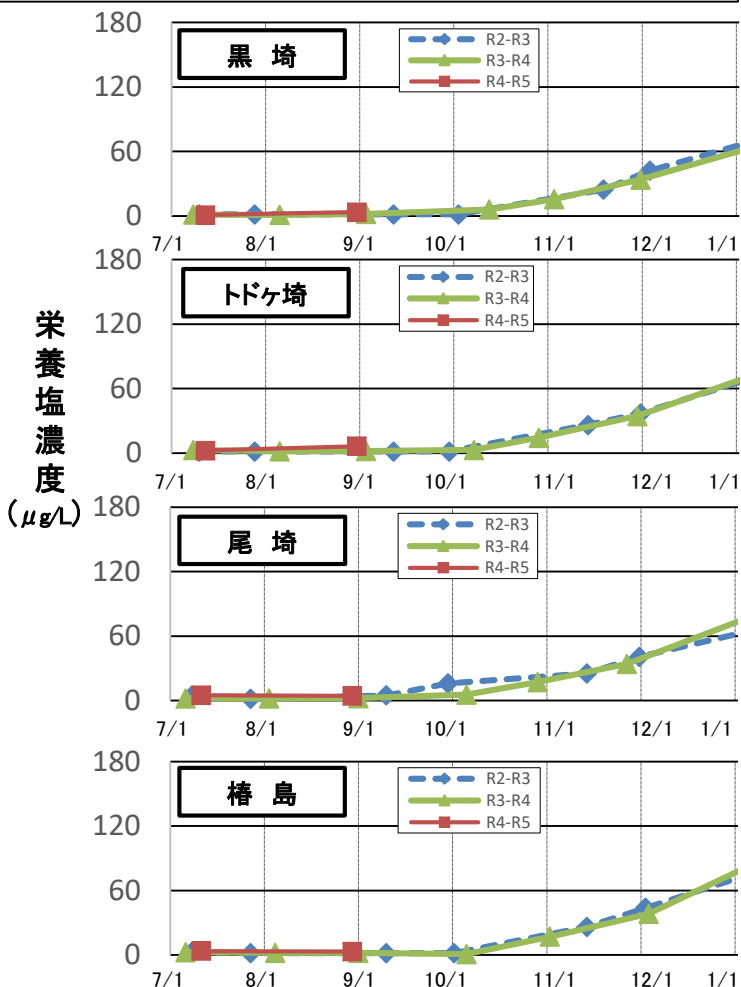


図2 0海里での栄養塩濃度の推移

※栄養塩供給予測のためのソフトウェア開発は、農林水産省 農林水産技術会議による「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」による成果です。  
※本予測は、栄養塩を分析してから50日先まで可能です。

